

ごあいさつ



2018年9月

東京工業大学長 益 一哉

「新たな歴史を刻む東工大」

本学は1881年以来の137年の歴史の中で、2016年度から教育改革、研究改革、ガバナンス改革を行ってまいりました。これは数十年単位の大変革です。そして2018年3月には、現在5法人が認定されているところの一つとして指定国立大学法人に指定されました。これは本学が理工系総合大学として常に最先端の教育研究活動をしてきた証であると同時に、未来に向けて進めている改革が評価されたものであります。

このように、本学は教育・研究・社会貢献に関して常に新たなスタイルを模索してまいります。

そのためには教育研究のソフト面のみならず、ハード面の環境を一層充実させ、スマートな教育研究のリソースや環境の実現と、その成果や世界

をリードしていける人材の育成を通じて社会へ貢献していかなばなりません。

本報告書は、そのための本学の環境について、法に基づく環境負荷項目等に加え、教育研究機関としての本学の特色を加味して2017年度の内容についてまとめています。ますます多様化する最先端の教育研究を安全に展開し、事業体としての環境負荷をわずかずつでも改善してインフラを整備し、未来を担う若者に環境への理解を深めさせて社会に輩出する本学の取り組みを環境側面から編纂しています。

本報告書をご覧戴き、2018年度以降の活動に引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。